

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	— ( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	四日市市 (242021)
地域名 (地域内農業集落名)	川島地区 (小生、狭間、川島、北川原、別所谷、乱飛)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	162.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	162.8 ha
② 田の面積	73.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	89.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	41.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.9 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考) 一筆の農地で、一部が農用地区域に指定されている場合、区域部分のみを地域計画区域とする。	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

ア 丘陵地の間に開けた水田は、区画が小さい、のり面が大きい等により、大型機械の導入が難しく除草作業等の負担も大きいことから、経営の大規模化が進みにくい状況にある。  
 イ 丘陵地の畑では、茶、タケノコ、野菜等が栽培されているが、価格の低迷、耕作者の高齢化により生産が縮小している。  
 ウ 農地開発地において大区画の水田、畑が造成されたが、畑作においては、茶を除いて産地を形成するような作物の導入が進まず、有効に利用されていない畑も多い。  
 エ 耕作者が高齢化する一方で後継者の確保が十分に進まないことから、区画整理のなされていない水田、畑において遊休農地の発生があり、今後さらに増加することが懸念されている。  
 オ イノシシ等による獣害が多くなり、対策にかかる経費や労力負担が増加している。  
 カ 農業用施設の老朽化が進行し、特に用水路は、各水利組合で漏水対策等の補修を重ねているが、抜本的に再整備が必要となっている。また、離農者の増加により、施設を維持管理する人員が少なくなり負担が大きくなっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

主要作物を水稻、茶、なばな、タケノコとする。  
 大規模な経営の展開が難しい地域のため、多様な農家により耕作を継続し、農地の効率的な利用に繋げていく。  
 また、新規就農者および地区外からも農業者等を受け入れていくとともに、市民菜園や景観作物栽培等、非農家を含めた地域住民との協働も含め農地の利用を進めていく。  
 農産物直売所を活用して、多様な生産者による少量でも売れる野菜等の生産を進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
認定農業者を中心に多様な担い手が連携し、耕作放棄地が発生しないように農地の有効活用を進める。受け手のリタイアに伴う農地が、新しい受け手へ円滑に引き継がれるように、農地中間管理機構を通じた利用権設定を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	17.9 %	将来の目標とする集積率	70 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
開水路の水田において、用水利用が効率化できるように集団化を図っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地域計画、目標地図について話し合いを続けるとともに、農地中間管理機構について継続的に周知し、その活用への理解を深める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
目標地図に基づき経営者ごとに農地が集団化されるよう集積を進めるとともに、受け手間の交換も農地中間管理機構の機能を活用して進める。
(3) 基盤整備事業への取組
用水路、農道等の農業用施設について、老朽化が進行していることから、その維持管理について水利組合等で話し合うとともに、補助金などを利用して計画的に整備・修繕を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
新規就農者等の経営が発展するように、農家組織や農協等の関係機関が連携して取り組むとともに、企業や福祉事業所等の農業参入を進める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
効率化が実現する作業については、委託による実施を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

① 鳥獣被害のある地域については、獣害柵の設置など、集落単位で効率的な対策を行う。  
 ③ 地域の農地を守っていく(営農継続)に当たっては、限られた人材で効率的な農業を目指すことが重要であるため、作業の省力化・効率化に向けて、スマート農機の導入を図る。  
 ⑦ 多面的機能支払交付金事業対象エリアにおいては、交付金を活用しながら、適切な農用地の維持管理を行う。  
 ⑧ 水利施設の改修を検討し、農作業にかかる負荷の低減を図るとともに、農地の集積・集約化を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	26経営体		29.1 ha	0 ha		31 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	認農	1	稲作	4.1 ha	ha	稲作	4.1 ha	ha	1	
2	認農	2	稲作・露地野菜	4.1 ha	ha	稲作・露地野菜	4.1 ha	ha	2	
3	認農	3	茶	3.2 ha	ha	茶	3.2 ha	ha	3	
4	利用者	4	稲作・果樹	2.6 ha	ha	稲作・果樹	4.3 ha	ha	4	
5	認農	5	稲作	2.5 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha	5	
6	利用者	6	稲作・露地野菜	1.4 ha	ha	稲作・露地野菜	1.4 ha	ha	6	
7	認農	7	稲作・花き・果樹・露地野菜	1.2 ha	ha	稲作・花き・果樹・露地野菜	2.7 ha	ha	7	
8	認農	8	茶	1.1 ha	ha	茶	1.1 ha	ha	8	
9	利用者	9	稲作・露地野菜・果樹	1 ha	ha	稲作・露地野菜・果樹	1.1 ha	ha	9	
10	利用者	10	稲作・露地野菜	0.9 ha	ha	稲作・露地野菜	1.3 ha	ha	10	
11	認農	11	稲作・茶	0.9 ha	ha	稲作・茶	0.9 ha	ha	11	
12	利用者	12	稲作・茶	0.7 ha	ha	稲作・茶	0.7 ha	ha	12	
13	利用者	13	稲作・露地野菜	0.6 ha	ha	稲作・露地野菜	2.1 ha	ha	13	
14	認農	14	茶	0.6 ha	ha	茶	0.6 ha	ha	14	
15	認農	15	稲作・露地野菜	0.6 ha	ha	稲作・露地野菜	0.6 ha	ha	15	
16	認農	16	茶	0.5 ha	ha	茶	0.5 ha	ha	16	
17	利用者	17	露地野菜	0.5 ha	ha	露地野菜	0.5 ha	ha	17	
18	利用者	18	果樹	0.5 ha	ha	果樹	0.5 ha	ha	18	
19	利用者	19	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha	19	
20	認農	20	茶	0.3 ha	ha	茶	0.3 ha	ha	20	
21	認農	21	施設野菜	0.3 ha	ha	施設野菜	0.3 ha	ha	21	
22	利用者	22	稲作・露地野菜	0.3 ha	ha	稲作・露地野菜	0.4 ha	ha	22	
23	認農	23	露地野菜・果樹	0.3 ha	ha	露地野菜・果樹	0.3 ha	ha	23	
24	認農	24	露地野菜・果樹	0.2 ha	ha	露地野菜・果樹	0.2 ha	ha	24	
25	利用者	25	露地野菜	0.2 ha	ha	露地野菜	0.2 ha	ha	25	
26	利用者	26	施設花卉・花木	0.1 ha	ha	施設花卉・花木	0.1 ha	ha	26	
	計	26経営体		29.1 ha	0 ha		31 ha	ha		